

[仮訳]

## G7 交通・保健合同大臣会合 - 議長声明

本日、G7 交通大臣および保健大臣（以下、「G7 の大臣」）は会合を開き、COVID-19 の影響から国際的な人の往来を再開・回復させるという共通の目標について、5 月に交通大臣が開始した議論を継続した。G7 の大臣は、G7 首脳会合のコミュニケに記載された、陸上、航空及び海上の国際的な往来の安全な再開が世界経済に与える重要性、及び、これを達成するためには、G7 の運輸省と保健省が協力を深めることが重要であるとの認識を再確認した。

G7 の大臣は、パンデミックへの取組みにおける道のりや人の往来への影響に関する経験はそれぞれ異なるものの、COVID-19 からのより良い回復を追求する点が共通している旨を指摘した。英国は、G7 が、家族や友人の再会やビジネスの再開に不可欠な相互の人の往来における障壁を軽減するために発揮している世界的なリーダーシップを確認した。G7 の大臣はまた、これらの障壁を減らすために、ワクチン接種や検査が重要な役割を果たし、成功を収めていることを確認した。

G7 の大臣は、G7 が今回のパンデミックおよび今後のパンデミックがもたらす共通の課題に対応し、そこから迅速に回復するに十分な準備を行うため、集合的な知識と経験を活用すべきである点に合意した。

**本日の議論の結果、G7 の大臣は、共同で以下のことを約束した。**

- 国際的な人の往来の回復を支援するために協力する際に、すべての国の指針となる一連のハイレベル原則を支持し、推進する
- 共通の課題を特定し解決策を共有しベストプラクティスを奨励するために、G7 および G7 以外の国の運輸省と保健省の間で情報や教訓を共有する
- ICAO の COVID-19 に関するハイレベル会議などの多国間会議において、これらの共有原則を推進することで機運を醸成し、国際的な人の往来を円滑にするためのグローバルなアプローチを支援する

### **安全で持続可能な人の往来再開のための G7 原則**

G7 の交通大臣および保健大臣は、議論の一環として、G7 および G7 以外のパートナーの指針となるような 7 つの基本原則に合意した。G7 の大臣は、新たな課題に対する今後の政策対応の指針として、これらの原則にコミットした。

## **共通の課題、共通のソリューション**

G7 の大臣は、すべての国が他国の経験から学ぶことで恩恵を受けており、また他国の経験から学ぶことは公衆衛生を守りながら安全に国境を再開するための重要なツールとなっていることを指摘した。G7 は、世界的なワクチン承認へのアプローチや、交通機関の持続的な脱炭素化を支援する取り組みなど、共通の課題について引き続き情報を共有していくことに合意した。

また、EU デジタル COVID 証明書や ICAO VDS 規格など、往来を目的とする COVID-19 認証に関する国際的な証明書や規格の推進において G7 の大臣が協力することに、英国は大きな期待を示した。さらに、英国は G7 の大臣に対して、証明書の相互運用性を確保するよう促した。

加えて、G7 の大臣は、プロセスや各国の認証政策によって特定のグループが不利益を被らないことを保証する、G7 保健大臣声明でのコミットメントを再確認した。英国は、安全性と有効性に関する明確な科学的証拠に基づいて、承認されたワクチンの混合投与や、投与間隔を延ばしてワクチン接種を受けた旅行者のワクチン接種状況を認識する努力を重視するカナダを支持した。英国は、ワクチン臨床試験参加者の公衆衛生上のリスクが低いことや効果的なワクチンを開発するための継続的な作業が極めて重要であることを考慮し、ワクチン臨床試験参加者が不利益を被らないことを保証する重要性を指摘した。英国の大臣は、規制対象となっているワクチン臨床試験参加者を国際的な往来を目的としたワクチン接種者として扱うために取られた措置を歓迎し、保健大臣のコミットメントを実施するよう他国に奨励した。

さらに、G7 の大臣は、市民と産業界にとって安全で公正かつ持続可能な方法で国際的な人の往来を再開することの重要性を強調した。また、陸上・航空・海上の交通乗組員の公正な扱いを確保する必要があることに合意した。特に G7 の大臣は、乗り継ぎ時の負担の制約を軽減し、これらの不可欠な労働者がワクチン接種や救急医療を公平に受けられるようにするため、特に各国政府や機関がこれら乗務員を重要な労働者として認識するよう促すことを通じて、陸上交通、航空機及び船舶の乗務員の公正な取扱いを確保する必要があることに合意した。

## **グローバルなアプローチを促進する**

G7 の大臣は、ハイレベル原則を通じた共通の目標を推進するために、より多くのパートナーと多国間会合に参加することを約束した。

G7 の大臣は、往来に必要な要件をそろえ、ワクチン接種証明書及びアプリの相互運用性を促進するための国際民間航空機関（ICAO）による取組みを支持することを確認した。また、G7 の大臣は、10 月に開催される ICAO の COVID-19 に関するハイレベル会議において、世界的なパンデミックを乗り越える航空の回復、強靱性及び持続可能性のための単一のビジョンについて、世界的な合意に達することを望んでいることに言及した。

## 将来に向けて

G7 は、現在のパンデミックと将来の感染症によるリスクを予防及び軽減するために協力し、交通機関の強靭性を高め、将来に向けて国際的な人の往来を保護するという約束を再確認した。

また、COVID-19 陽性検体の多くのゲノム配列を決定するなど医療における技術的進歩を活用し、世界中の新しい変異株や将来の病原体の脅威に迅速に対応するための国際的な分析システムを支援する必要があること、及び継続的な検査とワクチン接種の重要性を認識した。

G7 は、この対話を継続し、安全で持続可能な国際的な人の往来の再開を促進するための協力を深めていくことを約束した。